

Annual Report

KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL
Unit of Peripheral Vascular Surgery,
Department of Surgery

平成27年度 成績報告

関西医科大学 滝井病院 末梢血管外科

1. 手術統計

手術件数	311例
動脈手術件数	88例
①閉塞性動脈硬化症	41例/42肢
腸骨(大腿)－大腿動脈交差バイパス術	7例
大腿－膝上膝窩動脈バイパス術	6例7肢
(他の手術に追加施行)	4例
大腿－膝下膝窩動脈バイパス術	6例
腸骨(大腿)－下腿動脈バイパス術	4例
膝窩－足部バイパス術	8例
大腿－足部バイパス術	5例
鎖骨下－鎖骨下動脈バイパス術	1例
大動脈－両側大腿動脈バイパス	1例
腋窩－大腿動脈バイパス	1例
大腿動脈血栓内膜摘除術	1例
(他の手術に追加施行)	5例
グラフト修復術(グラフト瘤)	1例
うちハイブリッド手術	3例
うちdualバイパス	2例
②急性動脈閉塞症	6例
下肢	6例
(血栓除去術5例 バイパス1例)	
③動脈瘤	41例/42肢
腹部大動脈瘤	33例
うちステントグラフト内挿術	21例
うち破裂例	4例
(内腸骨瘤1例・感染性腹部瘤1例)	
大腿動脈瘤	2例
膝窩動脈瘤	3例4肢
上肢動脈瘤	3例
(上腕動脈2例 橈骨動脈1例)	

静脈手術件数	124例
①下肢静脈瘤	123例
ストリッピング術	45例
血管内焼灼術	72例
その他高位結紮など	6例
②IVCフィルター留置術	1例

バスキュラーアクセス手術件数	95例
内シャント造設術	72例
人工血管シャント造設術	10例
パーマネントカテーテル挿入術	1例
シャント瘤修復術	1例
シャント閉鎖	1例
シャント血栓除去	3例
シャントPTA	6例
その他(シャント分枝結紮)	1例

その他	4例
(2期的閉腹、開腹下腰動脈結紮術、腹壁癭痕ヘルニア根治術、リンパ漏根治術)	

血管内治療	46例(+ハイブリッド手術3例)
①経皮的血管拡張術	33例
(バルーンおよびステント)	
②塞栓術	13例
CTガイド下経腰的塞栓	1例
下肢動静脈瘻	2例
ナッツ・クラッカー症候群	1例
ステントグラフト前処置コイル塞栓	9例

2. 手術成績

動脈バイパス術
早期閉塞(術後30日以内): 2例
①突然の静脈グラフト破裂による出血に伴う閉塞(その後の血管内治療により潰瘍は治癒)
②run-offの乏しい後脛骨動脈へのバイパス(その後大切断に)
遠隔期閉塞(本年度手術分): 6例
うち1例は大切断、1例は入院死亡、4例は閉塞後も下肢温存可能
手術死亡(術後30日以内): なし
入院死亡: 6例
急性膀胱炎1例、脳梗塞合併症1例、再手術後の出血1例、腸管虚血1例、切断端からの敗血症2例

下肢大切断(バイパス術後): 5例
うち4例はバイパス前に予定されていた切断

大動脈瘤
手術死亡(術後30日以内): 1例
92歳の破裂例、術後腸管虚血

静脈瘤、シャント手術
合併症: なし

血管内治療
死亡、合併症: なし
初期成功: 97%

3. トピックス

1. 新医局員入局

平成27年10月より山本暢子医師が入局した。和歌山県立医大平成20年卒の女医で、当初より血管外科を専攻したく当科に入局した。女医という特性を生かしながらアクティブに日常診療に打ち込んでいる。



2. バスキュラーナース誕生

当科・駒井が日本血管外科学会においてチーム医療推進委員会委員長として全国的に活動を行っている「バスキュラーナース（血管看護師）養成」であるが、6月の日本血管外科学会では特別シンポジウムとして「バスキュラーナースをめざして」というセッションが設けられ、医師、看護師約230名が集い血管看護について熱いディスカッションが行われた。末梢血管外科下部組織である滝井病院フットケアチームのゲートキーパー看護師である大久保 縁が同シンポジウムの演者に選ばれ、当院で行っているコメディカルによる早期足病発見システム「滝井フットスキャン」について発表を行った。フットケアは全国的にも注目されつつあるがコメディカルによる入院患者全員のスクリーニングシステムである「滝井フットスキャン」は全国でも稀であり学会でも大きな反響を得た。血管看護に従事するバスキュラーナースの輪も広がりを見せ独自の研究会を立ち上げる予定で動いている。



3. 「滝井フットスキャン」から「北河内連携フットスキャン」へ

上述のごとく院内で施行している滝井フットスキャンは発見・報告例の40%が診療に結びつくという非常に効率的な結果を出している。そこでこのシステムを地域にも広げるべく「北河内連携フットスキャン」を6月より立ち上げた。これは地域の医院、病院のコメディカルによる足病変スクリーニングを支援するもので、発見された異常をコメディカルレベルで報告していただきその対処法、ケアの方法、受診の必要性などを即座にお返事するコンサルティングシステムである。現在約16施設との連携を構築している。9月には第一回北河内連携フットスキャン研究会を開催し約120名のコメディカルが集結した。大阪地区での足病変を適切に治療していくネットワークが完成しつつある。



北河内連携フットスキャンの詳細は病院HPフットケアチーム参照：
http://www.kmu.ac.jp/takii/visit/treatment/suport_section/foot_care.html

4. 関西地区血管外科医による多施設共同臨床研究

日頃研究会などで議論し合っている血管外科診療に特化した医師と共同して、大腿-大腿動脈交叉バイパス術の遠隔成績を調査した。当科深山がまとめ役となり関西地区12施設より242例の手術例を集め後方視的分析を行った結果、5年グラフト一次開存率が86%と、一般に示されている成績に比べ非常に良好であることが判明し10月の日本脈管学会で深山が報告した。血管内治療全盛のこの領域で外科的治療が見直される契機となる発表であった。

5. 第二回関西血管外科基本手技ビデオセミナー (KVVS) 開催

昨年に引き続き関西地区の若手外科医に対する基本的血管手術のセミナー、KVVSを枚方病院で開催した。本年はゲスト講師に東京慈恵会医科大学・大木隆生教授を迎え、人工血管の吻合ハンズオンの指導、および若手外科医に向けても特別講演をいただいた。参加者は東京、岡山からも含め医師、看護師、検査技師など総勢43名にのぼり、盛会裡に終了した。大木教授からも「関西地区の若手血管外科医の勢いを感じた」とのお褒めの言葉をいただいた。



6. 恒例のTAKE! ABI in KANSAIを主催

毎年秋に行っている、動脈硬化症市民啓発イベントである「TAKE! ABI in KANSAI」を今回も9月12日に滝井病院講堂で開いた。ABI検査を無料で行い、医師からのアドバイスを差し上げるこのイベントは本年も参加者が増加し283名にのぼった。当院スタッフによる市民公開講座も盛況に開催され、同地区での一般市民の動脈硬化症への意識もより高まったと考えている。



7. 医局員の外勤病院拡充

気軽に血管病患者をコンサルトいただけるよう当科医局員が可能な限り市中病院での診療に出向くようにしている。本年度からは新たに交野病院、森小路清水会クリニック、寝屋川生野病院、いぶきクリニック、宝持会池田病院にも出向している。当院血管外科に容易にアクセスできることが患者の足や生命を助ける第一歩と考えている。

8. 日本血管外科学会から派遣で研修へ

2016年3月6-8日にオランダ・マーストリヒトで行われたヨーロッパ血管外科学会主催のEuropean Vascular Course 2016に新入局員の山本が日本血管外科学会からの派遣若手医師のひとりとして参加した。3日間英語ばかりで缶詰状態での血管外科のセミナーであり体力的にも大変であったが、非常に意欲的に参加してきてくれた。日々の臨床に対する知識の向上もさることながら同じ世代の血管外科医と交流が持てたことが以後の仕事に対する意欲の向上に役立つものと期待している。



4. 研 究

① 論 文

1. 山田正法、中井宏治、山道啓吾、駒井宏好、吉岡和彦、権 雅憲 抗凝固療法が奏効した食道癌化学療法中の右内頸-上大静脈感染性静脈血栓症と化学療法 2015 42: 855-7
2. 山田正法、吉岡和彦、北出浩章、尾崎千恵、津田望、駒井宏好、権 雅憲 回腸導管造設・S状結腸切除術後に生じた小腸瘻孔に対して局所陰圧閉鎖療法を施行し奏効した1例 ICUとCCU 2015 39: 386-8
3. 山尾 順、駒井宏好 進行する広範囲組織欠損に対し足部下腿動脈バイパス術を行い救肢した糖尿病性足病変の1例 日血外会誌 2015: 24: 893-897
4. 駒井宏好 原因不明の血管炎・皮膚潰瘍の診断(Q&A)日本医事新報 2015 4761: 63-4
5. 大久保 緑、駒井宏好 市民啓発活動「TAKE! ABI in KANSAI」イベントに協力したフットケアチーム員へのアンケート結果の分析 日本下肢救済・足病学会誌 2015: 7: 185-187
6. 駒井宏好 目で見える血管障害 閉塞性動脈硬化症重症下肢虚血に対する下腿動脈バイパス術: 救肢のための「最後の切り札」 Angiology Frontier 14: 161-165 2015
7. 駒井宏好 明日からの診療に役立つ末梢血管疾患の診断と治療 大阪府内科医会会誌 2015: 24: 167-175
8. 山尾 順、駒井宏好 上腕動脈閉塞による手指広範囲組織欠損に対してバイパス手術が有効であった1例 日血外会誌 2015 24: 6 893-7
9. Hiroyoshi Komai, Shunya Shindo, Hiroshi Shigematsu, Hirtoshi Ogino. Double tract vein graft of the lower limb: its efficacy as a conduit for tibial bypass. J Cardiovasc Surg (Torino). 2016: 57: 481-2.

② 学会発表その他

【国際学会】

1. Noriyuki Miyama, Hideki Sakashita, Shunya Shindo, Hiroyoshi Komai. Lipid Disorders Might Be Affected To Develop Critical Limb Ischemia In PAD Patients. Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology. Peripheral Vascular Disease 2015 Scientific Sessions. San Francisco USA 2015

【総 会】

特別発表

1. 駒井宏好、坂下英樹、深山紀幸、山尾 順
シンポジウム4 Vascular teamの現状 多職種、

多診療科による「トータルフットケア」をめざして
第56回日本脈管学会 東京 2015

2. 大久保 緑 チーム医療推進特別シンポジウム「Vascular Nurseをめざして」私の活動
~これまでそしてこれから~
第43回 日本血管外科学会 横浜 2015
3. 駒井宏好 シンポジウム3 透析合併重症虚血肢に対するdistal bypass術-開存率向上のための工夫- 下腿動脈バイパス術の吻合部位決定における血管超音波検査の重要性
第46回日本心臓血管外科学会 名古屋 2016

一般発表

1. 深山紀幸、駒井宏好、坂下英樹、山尾 順、進藤俊哉 重症下肢虚血患者に特徴的な脂質プロファイルならびに背景因子の解析
第43回日本血管外科学会 横浜 2015
2. 山尾 順、駒井宏好、深山紀幸、坂下英樹 大腿深動脈を末梢側吻合部としたバイパス手術の有用性
第43回日本血管外科学会 横浜 2015
3. 谷村裕嗣、清原隆宏、水田栄樹、中丸 聖、榎村 馨、深山紀幸、坂下英樹、大久保 緑、駒井宏好、岡本祐之 皮膚科を窓口としたフットケア外来
第7回日本下肢救済・足病学会 横浜 2015
4. 深山紀幸、坂下英樹、駒井宏好、向原伸彦、浅田秀典、筋 隆、岩橋正尋、川田雅俊、渋谷 卓、杉本貴樹、谷村信宏、辻 義彦、中村 隆、藤村博信、吉田正人、脇田 昇 多施設後ろ向きコホート研究による大腿-大腿動脈交叉バイパスの長期遠隔成績-Re-ACTION study-
第56回日本脈管学会 東京 2015
5. 坂下英樹、深山紀幸、駒井宏好、大久保 緑、桑原 厚 地域医療でのフットケアにおける基幹病院血管診療科の役割
第56回日本脈管学会 東京 2015
6. 坂下英樹、深山紀幸、駒井宏好 鎖骨下動脈閉塞に対する腋窩動脈-腋窩動脈バイパス術の2例
第77回日本臨床外科学会 福岡 2015
7. 谷村裕嗣、清原隆宏、水田栄樹、中丸 聖、井上由美、小杉 隆、坂下英樹、山原英樹、駒井宏好、岡本祐之 LDL アフェレーシスの追加により足趾切断端治癒を得たバイパス術後の1例
第14回日本フットケア学会 神戸 2016

座長

駒井宏好

1. シンポジウム19 間欠性跛行に対する診断と治療
第115回日本外科学会 名古屋 2015
2. チーム医療推進・特別シンポジウム バスキュラー・ナースをめざして：血管診療医とともに歩むコメディカルへの提言
第43回日本血管外科学会 横浜 2015
3. 要望演題3 ブラッドアクセス
第35回日本静脈学会 奈良 2015
4. チーム医療
第56回日本脈管学会 東京 2015
5. 会長要望演題10 PADに対する治療戦略
第46回日本心臓血管外科学会 名古屋 2016

③講演

駒井宏好

1. 腹部大動脈瘤の診断と最新治療
血管疾患医療 連携カンファレンス 特別講演
大阪 2015.5.23
2. フットケアを中心とした閉塞性動脈硬化症治療の新しい治療展開
糖尿病と末梢血管カンファレンス2015 特別講演
秋田 2015.5.29
3. 末梢静脈疾患の治療
第27回CVT認定講習会・2015年度第1回血管無侵襲診断セミナー 横浜 2015.6.6
4. 大きく変貌を遂げた静脈疾患治療
淀川血管治療ネットワーク 特別講演 枚方
2015.6.13
5. 静脈血栓塞栓症の予防－基礎から最新治療まで－
枚方VTE FORUM（市立ひらかた病院 院内勉強会）枚方 2015.6.24
6. 末梢静脈疾患の診断と治療
第28回CVT認定講習会・2015年度第2回血管無侵襲診断セミナー 奈良 2015.7.11
7. 閉塞性動脈硬化症治療における血管外科医の果たすべき役割
第16回しまなみ血管フォーラム 特別講演 松山
2015.7.11
8. 透析患者の足を守り命を守る－閉塞性動脈硬化症早期発見の重要性－
第85回大阪透析研究会 スイーツセミナー 特別講演 大阪 2015.9.13
9. 歩行障害の総合的診断・治療「足の症状は我々にお任せ！」足の症状から知る血管病
大阪市鶴見区医師会と関西医科大学附属滝井病院との講演会 大阪 2015.9.19
10. 血管内治療全盛時代における血管外科医の使命とは？

- 第一回関西血管外科倶楽部 特別講演 大阪
2015.10.3
11. 明日からの診療に役立つ末梢血管診療のポイント
泉州地区臨床懇話会 特別講演 阪南 2015.10.8
12. PADにおける侵襲的治療の適応
第56回日本脈管学会 脈管専門医教育セッション
2015.10.30 東京
13. 末梢静脈疾患の診断と治療
第29回CVT認定講習会・2015年度第3回血管無侵襲診断セミナー 東京 2015.10.31
14. これからの静脈血栓症治療－専門医と家庭医の連携の必要性－
第3回Keihan Vascular Forum 大阪 2015.11.14
15. 糖尿病患者の重症下肢虚血に対する血管外科の挑戦 第2回糖尿病と透析患者のフットケアを考える会 特別講演 京都 2015.11.15
16. 糖尿病性血管病変に対する末梢血管外科の最新治療 第12回城西地区創傷ケアフォーラム 特別講演 東京 2015.11.18
17. 日常診療に役立つ血管疾患診療のポイント
貝塚市医師会学術講演会 特別講演 貝塚
2016.1.21
18. 「血管の病気 検査から診療へ」チーム医療による脈管診療
平成27年度大阪府放射線技師会・大阪府臨床検査技師会技師会合同フォーラム 大阪 2016.1.23
19. 下肢虚血に対する血管外科医の治療
第44回大阪形成外科医会 大阪 2016.2.13
20. 心臓外科医のための「明日から役立つ末梢血管外科診断・治療学」
第46回日本心臓血管外科学会 ランチョンセミナー 名古屋 2016.2.16
21. 日常診療における脈管疾患の診かた
平成27年度大阪市東淀川区医師会と関西医科大学附属滝井病院との懇談会 特別講演 大阪
2016.3.5
22. がんより怖い！血管病のはなし
大正区民のための健活セミナー 市民公開講座
大阪 2016.3.20
23. 静脈疾患診療の最新情報（レーザ治療やNOAC）
第8回リンパ浮腫療法士教育セミナー
講義 枚方 2016.3.27

大久保 縁

1. 足病変早期発見へむけたコメディカル中心の地域連携システムの構築～滝井フットスキャンから北河内連携フットスキャンへ～
第14回日本フットケア学会ランチョンセミナー：「糖尿病足病変早期発見のためのスクリーニング」
2016.2.7

あとがき

平成27年度もみなさまのお蔭をもちまして大過なく診療を行うことができました。症例数や手術件数は1、2年目からは増加は少なかったものの、大学病院としての役目である重症症例の積極的な受け入れ、特殊な治療手段による徹底的な治療は行えたのではないかと自負しております。また学会発表、論文投稿は着実に伸びております。医局員も一人増え、年齢的にもバランスの取れた布陣となりました。ますます幅広く地域からのご紹介をお受けできるようがんばってまいります。今後は学生たちにしっかりとアピールを行い関西医大出身の医師が活躍できるような診療科を作ってまいります。

昨年あたりから下肢閉塞性動脈硬化症の重症化が目立ってきており、正確な技術と徹底的に下肢救済を行うという熱意で対応してきましたが、限界があります。そこでより早期の足病変の発見、地域の医療機関からの気軽なアクセス、市民への啓発活動などに力をいれるようになりました。また関西地区全体の若手血管外科医の教育や我々の診療を手助けしてくれるバスキュラーナースの育成にも力を入れてきました。まだまだそれらの効果が出ているとは言えませんが今後も診療技術の向上と教育啓発活動の2本立てで行ってまいります。

当地域の血管病征圧のためみなさまがたのお力をお借りしてよりよい診療ができるよう努力する所存でおります。今後ともぜひご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年夏

関西医科大学総合医療センター（旧：滝井病院）血管外科

教授 駒井宏好



KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL